

資料1 (R1) ハイドン作曲のメロディーによる讃美歌「栄えに満ちたる」(Glorious Things of Thee are Spoken) と旧オーストリア国歌・ドイツ国歌が歩んだ道

R1作成 2023/7/28 岡本雅幸

讃美歌 「栄えに満ちたる」 (Glorious Things of Thee are Spoken)	ヨーロッパの歴史	オーストリア国歌	ドイツ国歌
【詩】1779年 ジョン・ニュートン (1725- 1807) 讃美歌集“ Olney Hymns ”の中で発表された。 全5節。 この時、彼が作詞したアメイジンググレイス (Amazing Grace)も同時に発表された。 【曲】1802年 ハイドン作曲のメロディーを付して、 讃美歌集Sacred Musicに収録 以後英国・米国にて広く愛唱さる	フランス革命 (1789-1795) ナポレオン戦争 (1796-1815) 第一次世界大戦 (1914-1918)	【詩】1796年 ローレンズ・レオデン・ハシュカ 「神よ、皇帝フランツを守り給え」 【曲】1797年 フランツ・ヨーゼフ・ハイドン (1732 - 1809) 1797年 神聖ローマ帝国(ハプスブルク帝国) 『皇帝賛歌』として献上さる ※ 神聖ローマ帝国帝国は1806年消滅 1804年 オーストリア帝国国歌となる (1804年～1867年) 1867年 オーストリア-ハンガリー帝国 国歌となる (1867年～1918年) ※ 第一次世界大戦敗戦により帝国は解体	1841年 『ドイツ人の歌』誕生 【詩】ファラースレーベン (全三節) 【曲】ハイドン 1922年 ヴァイマル共和国“国歌”となる (1918-1933) 1865年 ペーター・コルネリウス作曲。 【詩】不詳 バーなどでラブソングとして 歌われ親しまれていた。 1929年 ナチ党歌となる 【詩】ホルスト・ヴェッセル『旗を高く掲げよ』 【曲】コルネリウス 1929年 ホルスト・ヴェッセル 『旗を高く掲げよ』(全3節) 1933年 ナチスによる政権掌握から僅か数週間後、 ・ヴァイマル共和国国歌(『ドイツ人の歌』)の二、三節は演奏禁止となり、 ・最初に国歌一節を歌い、次に『旗を高く掲げよ』を歌うこと、 ・このように2つの歌を連続して歌うことが実質的にドイツ帝国(第三帝国)の国歌となった。 1945年～1949年 連合軍軍政期(アメリカ合衆国、イギリス、フランス、ソビエト連邦四カ国による分割占領状態) 『旗を高く掲げよ』ばかりか、「ドイツ人の歌」も演奏禁止に。 国歌が無い状態の始まり。 1949年制定のドイツ連邦共和国(西ドイツ) 基本法は、国歌の制定を断念。 1990年10月3日 ドイツ再統一 同年、連邦憲法裁判所により、『ドイツ人の歌』の 第三節のみが法により保護される」とされた。 【詩】ファラースレーベン 【曲】ハイドン しかし、ドイツ連邦共和国の国歌に関する正規の 法律は未だに策定されていない。
讃美歌 194番「さかえにみちたる」 聖歌 199番「輝く姿は」 聖歌(総合版) 158番「輝く姿は」 新聖歌 145「栄えに満ちたる」 日本聖公会聖歌集390番「栄えに満ちたる」 教会讃美歌 277番「栄えに輝く」 讃美歌21 収録無し？			